

## 平成 22 年度 3 月 補正予算 No. 2 の概要

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により被害が生じた市内施設の復旧や被災地への支援などについて、災害復旧費や予備費等を用いた緊急の対応と併せて、既存の予算では対応できない災害対策をより速やかに着実に進めるため、3 月 25 日に補正予算の専決処分を行ったもの。

### □一般会計

**総額 297,000 千円**  
(単位：千円)

補正前	補正額	補正後	補正額の財源内訳	
			特定財源	一般財源
243,786,000	297,000	244,083,000	10,000	287,000

#### \* 歳入予算

(単位：千円)

主 な 内 容 (単位：千円)

1 寄附金

10,000

社会福祉基金寄附金	10,000
-----------	--------

2 繰入金

287,000

財政調整基金繰入金	287,000
-----------	---------

#### \* 歳出予算の主なもの

##### ●本市関連経費

1 施設復旧関連

22,700

道路橋りょう、保育園等施設の安全性を確保するため点検を行うもの
---------------------------------

2 帰宅困難者支援関連

2,520

帰宅困難者支援に必要な毛布等の防災備品を補充するもの
----------------------------

3 計画停電関連

81,187

図書館システム機器移設及び、統一地方選挙の計画停電に対応するための整備等を行うもの
---

4 原発関連

31,135

放射能等の測定に必要な備品の整備を行うもの
-----------------------

##### ●被災地支援経費

1 人的支援関連

6,928

被災地へ職員を応援派遣するため必要な被服等を整備するもの
------------------------------

2 物的支援関連

50,909

被災地へ必要な生活物資を支援するもの
--------------------

3 被災者受入関連

30,050

被災者を受け入れるために必要な住宅の整備等を行うもの
----------------------------

#### \* 繰越明許費の補正

(単位：千円)

1 文教施設災害復旧費ほか

289,721

工期の確保等ができないため
---------------

\*このほか、平成 22 年度の現計予算（災害復旧費、予備費等）により本市施設の復旧や被災地への支援（見舞金を含む）等を行う。

□下水道事業特別会計(下水道勘定)

総額 50,000千円

(単位：千円)

\*歳出予算

公共下水道維持管理費	50,000
------------	--------

\*繰越明許費の補正

(単位：千円)

1 公共下水道維持管理費

計画停電に伴うマンホールポンプ運転委託を年度を越えて委託するため	40,473
----------------------------------	--------

# 平成22年度3月補正予算の概要

## □一般会計

**総額**

**△1,713,000千円**

(単位：千円)

補正前	補正額	補正後	補正額の財源内訳	
			特定財源	一般財源
245,499,000	△ 1,713,000	243,786,000	△ 1,161,147	△ 551,853

\*歳入予算の主なもの

(単位：千円)

主 な 内 容 (単位：千円)

1	市税	△ 1,000,000	個人市民税 △1,400,000 法人市民税 400,000
2	地方特例交付金	△ 363,723	
3	地方交付税	△ 1,278,835	普通交付税 △1,278,835
4	使用料及び手数料	△ 132,728	道路占用料 37,600 峰山霊園墓所使用料 △15,144 ごみ処理手数料(定期) △153,789
5	国庫支出金	△ 492,516	住民生活に光をそそぐ交付金 20,000 道路改良事業補助金 △227,636 淵野辺公園整備事業補助金 69,000
6	県支出金	18,335	保育所緊急整備事業補助金 103,434
7	諸収入	△ 110,186	清掃工場電力売払収入 16,000 県道510号(長竹川尻)道路改良事業負担金 △9,200 津久井広域道路改良事業負担金 △104,684
8	市債	1,614,000	一般公共事業債 △820,000 合併特例債 1,136,200 臨時財政対策債 2,000,000

\*歳出予算の主なもの

1	職員給与費	△ 800,000	
2	国直轄事業負担金	△ 1,067,950	
3	大山氷川線道路改良事業(継続費)	△ 709,967	
4	道路改良事業(箇所指定)	△ 281,723	
5	津久井広域道路インターチェンジ 接続事業(継続費)	△ 223,500	
6	矢部駅踏切改良事業(債務負担行為)	△ 193,322	
7	市立診療所財産購入費	81,721	神奈川県から市立診療所の財産を購入するもの
8	中小企業景気対策特別融資	39,000	利子補給金 8,000 信用保証料補助金 31,000
9	(仮称)緑区合同庁舎立体駐車場整備事業	1,716,000	土地開発公社からの買戻し 5,640㎡
10	淵野辺公園用地購入事業	222,420	土地開発公社からの買戻し 2,000㎡
11	道路用地購入事業	830,166	土地開発公社からの買戻し 15路線 3,338㎡ 【市道11路線、都計道4路線】
12	産業集積促進基金積立金	847,977	基金現在高見込み 1,327,123千円 (H22年度末現在)

＊継続費の補正

防災行政用同報無線統合整備事業（平成22年度設定分）（平成22年度～23年度）

総額 130,000千円 →119,700千円

事業の進捗に伴う総事業費、年割額、財源の変更

県道513号（鳥屋川尻）道路改良事業（平成22年度～24年度）

総額 889,000千円 →824,300千円

事業の進捗に伴う総事業費、年割額、財源の変更

大山氷川線道路改良事業（平成19年度～22年度）

総額 3,400,000千円 →2,690,033千円

事業の完了に伴う総事業費、財源の整理

津久井広域道路インターチェンジ接続事業（平成22年度～24年度）

総額 3,888,000千円 →3,888,000千円

事業の進捗に伴う年割額、財源の変更

津久井広域道路東中野橋新設事業（平成22年度設定分）（平成22年度～23年度）

総額 1,326,000千円 →1,029,200千円

事業の進捗に伴う総事業費、年割額、財源の変更

市営並木団地整備（1工区）事業（平成21年度～22年度）

総額 1,548,400千円 →1,526,700千円

事業の完了に伴う総事業費、財源の整理

市営内郷住宅整備事業（平成22年度～23年度）

総額 454,800千円 →438,600千円

事業の進捗に伴う総事業費、年割額、財源の変更

＊繰越明許費の補正

（単位：千円）

1	道路改良事業 （県道510号（長竹川尻）道路改良事業ほか10）	316,060	地権者及び関係機関との交渉等に日時を要したため
2	交通円滑化事業 （幸延寺入口交差点改良事業）	12,502	地権者との交渉等に日時を要したため
3	一級河川鳩川・道保川改修事業	67,285	関係機関との交渉に日時を要したため
4	準用河川鳩川改修事業	97,054	工事の影響による宅地の地盤沈下に対する経過観測及び対策に日時を要したため
5	当麻地区整備促進事業	155,828	地権者との交渉等に日時を要したため
6	小田急相模原駅周辺市街地整備事業 （北口B地区市街地再開発事業補助金）	428,800	権利者の同意を得るのに日時を要したため
7	小田急相模原駅周辺市街地整備事業 （北口B地区市街地再開発事業負担金）	642,000	権利者の同意を得るのに日時を要したため
8	都市計画道路整備事業 （相模大野線（第3工区）道路改良事業ほか10）	922,861	関係機関との交渉等に日時を要したため
9	津久井広域道路インターチェンジ接続事業 （債務負担行為）	20,129	関係機関との交渉に日時を要したため
10	消防団詰所・車庫整備費 （城山消防団第3分団第3部ほか1）	68,217	近隣工事の影響及び地権者との交渉等に日時を要し、工期が確保できないため
11	消防水利整備費	4,700	近隣工事の影響により工期が確保できないため
12	小学校教材等整備事業	10,600	住民生活に光をそそぐ交付金の追加内示に伴い実施するが、整備に要する期間の確保ができなため
13	中学校教材等整備事業	9,400	住民生活に光をそそぐ交付金の追加内示に伴い実施するが、整備に要する期間の確保ができなため

※債務負担行為の設定

- 相模原麻溝公園競技場、相模原麻溝公園スポーツ広場  
指定管理経費（平成22年度設定分）【追加】

限度額 16,800千円  
期 間 平成22年度～23年度

- 津久井広域道路インターチェンジ接続事業【変更】

限度額 344,000千円  
(22年度△6,650千円・23年度+6,650千円)  
期 間 平成22年度～23年度

- 相模原麻溝公園競技場、相模原麻溝公園スポーツ広場  
指定管理経費【変更】

限度額 207,380千円（補正額 10,610千円）  
期 間 平成20年度～23年度

バックスタンドの完成に伴い、施設の管理業務について、指定期間終了までの債務負担行為を追加設定するもの

初年度分の負担額が確定したことにより、年度割の変更を行うもの

芝生の維持管理の仕様変更に係る指定管理経費の変更を行うもの

□国民健康保険事業特別会計(事業勘定)

総額 323,000千円  
(単位：千円)

※歳出予算の主なもの

職員給与費	△ 57,000
退職被保険者高額療養費	10,000
国庫支出金返納金	370,000

□下水道事業特別会計(下水道勘定)

総額 △421,000千円  
(単位：千円)

※歳出予算の主なもの

職員給与費	△ 74,000
相模川流域下水道建設負担金	△ 22,700
公共下水道測量設計等委託	△ 14,100
公共下水道整備補助事業	△ 130,000
その他整備費	△ 86,100

※繰越明許費の補正

- 公共下水道整備補助事業
  - (公共下水道第1-1処理区分整備工事(3工区)ほか9)面整備事業
  - (公共下水道第7-2-1処理区分整備工事(5工区))
  - ポンプ場改築更新事業

(単位：千円)

周辺住民及び関係機関との調整に日時を要したため	496,329
関係機関との調整に日時を要したため	23,142
施工区域内の埋め戻し予定箇所の想定外のコンクリート塊の撤去に日時を要したため	297,958

□財産区特別会計

総額 △6,850千円  
(単位：千円)

※歳出予算

総務管理費	△ 6,850
-------	---------

□後期高齢者医療事業特別会計

総額 △422,600千円  
(単位：千円)

※歳出予算

職員給与費	△ 22,000
後期高齢者医療広域連合負担金	△ 400,600

□公債管理特別会計

総額 326,300千円  
(単位：千円)

※歳出予算

公債費	326,300
-----	---------

## 平成22年度1月補正予算の概要

### □一般会計

総額 8,311,000千円

(単位：千円)

補正前	補正	補正後	補正額の財源内訳	
			特定財源	一般財源
237,188,000	8,311,000	245,499,000	7,959,477	351,523

#### \*歳入予算

(単位：千円)

#### 主 な 内 容

1	国有提供施設等所在市町村助成交付金	98,192	国有提供施設等所在市町村助成交付金	93,226
			施設等所在市町村調整交付金	4,966
2	国庫支出金	3,624,331	きめ細かな交付金	114,679
			住民生活に光をそそぐ交付金	77,286
			国庫補助金(国補正予算関連)	3,411,416
3	県支出金	51,446	県補助金(個別予防接種事業)	51,446
4	繰越金	253,331	前年度剰余金	253,331
5	市債	4,283,700	補正予算債	4,266,100
			一般補助整備事業債	105,000

#### \*歳出予算の主なもの

(単位：千円)

1	きめ細かな交付金充当事業	136,297	公共施設の修繕等を行うもの (相模湖まちづくりセンター外壁塗装ほか9件)
2	住民生活に光をそそぐ交付金充当事業	77,286	女性やニート等の若者の就労支援、図書館の図書資料の購入などを実施するもの (図書館資料充実経費ほか12件)
3	緊急経済対策事業(国庫補助分)	7,835,562	公園や街路の整備、学校の大規模改修、市街地再開発事業の前倒しなどを実施するもの (小中学校校舎改造事業ほか)
4	緊急経済対策事業(市単独分)	30,200	住宅リフォームの助成を行うもの
5	個別予防接種事業	117,847	子宮頸がん予防ワクチン等の接種を実施するもの
6	市税過誤納還付金	221,000	市内企業への過納還付金を増額するもの

#### \*繰越明許費の設定

小中学校校舎改造事業ほか 8,350,324

緊急経済対策事業として前倒して実施することから年度内に必要な工期が確保できないため

#### \*債務負担行為の設定

ゼロ市債対象事業  
限度額 426,200千円

道路改良事業など12事業について、債務負担行為により前倒し発注を行うもの

### □下水道事業特別会計(下水道勘定)

総額 179,700千円

#### \*歳出予算(繰越明許費の設定)

(単位：千円)

公共下水道整備補助事業  
(緊急経済対策事業・国庫補助分) 179,700

西大沼地区において雨水幹線(2工区)整備工事を行うもの

平成22年度12月補正予算の概要

□一般会計

総額

400千円

(単位：千円)

補正前	補正	補正後	補正額の財源内訳	
			特定財源	一般財源
234,280,000	400	234,280,400	0	400

\*歳入予算

(単位：千円)

主な内容

1 繰越金

400

前年度剰余金

\*歳出予算

1 家庭的保育事業

400

待機児童の解消のため家庭的保育事業を実施するにあたり、家庭的保育者となる者等に対し研修を行うもの

平成22年度12月補正予算No.2の概要

□一般会計

総額 2,907,600千円

(単位：千円)

補正前	補正	補正後	補正額の財源内訳	
			特定財源	一般財源
234,280,400	2,907,600	237,188,000	1,982,000	925,600

\*歳入予算の主なもの

(単位：千円)

主な内容

- 1 国庫支出金 1,768,223
- 2 県支出金 185,977
- 3 繰越金 925,600

国庫負担金	1,578,532
国庫補助金	180,991
県負担金	90,266
県委託金	43,382
前年度剰余金	925,600

\*歳出予算の主なもの

(単位：千円)

- 1 職員給与費 △ 700,000
- 2 (仮称) 緑区合同庁舎立体駐車場整備事業 19,000
- 3 障害児者介護給付費等 306,164
- 4 後期高齢者医療広域連合負担金 120,000
- 5 生活保護費 1,864,000
- 6 雇用対策事業 (職業相談・面接会等経費) 1,400
- 7 中小企業景気対策事業 (中小企業景気対策特別融資利子補給金) 400
- 8 総合水泳場施設管理運営費 4,900
- 9 統一地方選挙経費 226,700

人事委員会勧告に基づき職員給与を改定するもの
(仮称) 緑区合同庁舎の来客者用に建設する立体駐車場のための設計業務を実施するもの
サービス利用量の増等により支給額が当初の見込みを上回るため増額するもの
医療費の増等により医療給付費の市負担分が当初の見込みを上回るため増額するもの
生活保護世帯数の増加等により支給額が当初の見込みを上回るため増額するもの
若年求職者の就業機会の確保をするため、相模原市内の中小企業と求職者のマッチングを図る就職面接会を開催するもの
市内の小規模事業者を支援するため、小規模事業者経営改善資金(マル経融資)利用者が支払った約定利子額の一部を助成するもの
日本選手権水泳競技大会飛込競技の開催にあたり、飛込競技用備品の更新を行うもの
平成23年4月の統一地方選挙に係る経費のうち、今年度中に執行を要するもの

\*繰越明許費の設定

(単位：千円)

- 1 (仮称) 緑区合同庁舎立体駐車場整備事業 19,000

建設のための実施設計について、年度内での完了が見込めないため
--------------------------------

\*債務負担行為の設定

- 新
- 1 緑第一障害者地域活動支援センター指定管理経費
  - 2 相模川ふれあい科学館指定管理経費
  - 3 市営自転車駐車場指定管理経費
  - 4 峰山霊園、柴胡が原霊園指定管理経費
  - 5 市営住宅指定管理経費

□介護保険事業特別会計

総額

13,800千円

\*歳出予算

(単位：千円)

- 1 要介護認定事務費 13,800

要介護認定事務に要する経費を追加するもの
----------------------

平成22年度9月補正予算の概要

□一般会計

総額

204,000千円

(単位：千円)

補正前	補正	補正後	補正額の財源内訳	
			特定財源	一般財源
234,000,000	204,000	234,204,000	155,300	48,700

\*歳入予算

(単位：千円)

主な内容

- 1 国庫支出金 22,160
- 2 県支出金 59,640
- 3 繰越金 48,700
- 4 諸収入 73,500

国庫補助金	7,260
国庫委託金	14,900
県補助金	59,640
前年度剰余金	48,700
日本宝くじ協会助成金	73,500

\*歳出予算の主なもの

(単位：千円)

- 1 戸籍住民事務運営費 12,100
- 2 施設入所児童等特別支援事業 6,240
- 3 産婦人科急病診療事業 5,000
- 4 自然エネルギー等利用設備設置促進事業 23,600
- 5 緊急雇用創出事業 43,100
- 6 政令指定都市移行記念事業  
さがみはらフェスタ 15,000
- 7 学校情報教育推進事業 14,900
- 8 展示・教育普及事業経費 74,400

橋本駅、相模大野駅周辺に証明書自動交付機を各1台設置するもの
子ども手当の支給対象とならない児童福祉施設に入所する児童等に対し、相当分を助成するもの
産婦人科急病診療事業を年末年始まで拡大するもの
地球温暖化対策推進のため、太陽光発電設備の導入支援を追加して実施するもの
雇用・就業機会を創出するため、緊急雇用創出事業臨時特例交付金を財源とした事業(14事業)を追加実施するもの
会場予定地の相模総合補給廠返還予定地における警備費、設営費等を追加するもの
新学習指導要領に対応する小学校のデジタル英語教材の開発を文部科学省より受託するもの
博物館の天文常設展示のリニューアル整備を行うもの

\*債務負担行為の設定

- 1 生活交通確保対策補助金  
限度額 83,400千円  
期間 平成22年度から平成23年度まで

国・県補助制度を活用して、生活交通である路線バス2路線の維持・確保を図るため、補助期間中の債務負担行為を設定するもの
--

□国民健康保険事業特別会計(事業勘定)

総額

75,000千円

\*歳出予算

(単位：千円)

- 1 一般事務費(国保連システム最適化に係るシステム改修経費) 75,000

レセプト電子化に向けた国保連合会の情報システムの統一化への対応として、本市システムの改修を行うもの
---

□介護保険事業特別会計

総額

153,000千円

\*歳出予算の主なもの

(単位：千円)

- 1 高額医療合算介護サービス費 133,364
- 2 高額医療合算介護予防サービス費 3,641

要介護者に対する高額医療合算介護サービス費の支給に要する経費を追加するもの
要支援者に対する高額医療合算介護予防サービス費の支給に要する経費を追加するもの

平成22年度9月補正予算No.2の概要

□一般会計 総額 76,000千円

(単位：千円)

補正前	補正	補正後	補正額の財源内訳	
			特定財源	一般財源
234,204,000	76,000	234,280,000	54,500	21,500

\*歳入予算

(単位：千円)

主 な 内 容

1 県支出金

54,500

新型インフルエンザ予防接種費用軽減事業補助金

2 繰越金

21,500

前年度剰余金

\*歳出予算

1 個別予防接種事業

76,000

新型インフルエンザ予防接種を受ける者のうち生活保護世帯者及び市民税非課税世帯者等について、接種費用を免除するために要する経費